

沖縄公庫中部支店の新型コロナ特別相談窓口の取組み状況について

沖縄振興開発金融公庫中部支店(支店長:渡真利克久)は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対する支援状況をとりとめました。

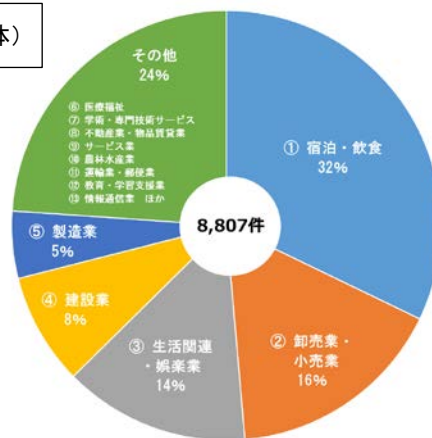
1. 新型コロナウイルス関連融資の実績

沖縄公庫では、今年1月27日に新型コロナ関連の相談窓口を設置し、中部支店では同年6月28日までに融資申し込みが2,565件で499億円、うち融資決定は2,220件で367億円となり、進捗率は87%に達しています。

2. 業種別実績について

業種別融資決定実績では、「宿泊・飲食業」が32%と最も高く、「卸売・小売業」16%、「生活関連・娯楽業」14%、「建設業」8%が続きました。観光関連産業のみでなく、不況に強いとされる業種(生活関連、医療、土業など)の相談も増加しました。

業種別融資決定実績(公庫全体)



3. セーフティネット機能の発揮

今回の対応に際して、支店職員に加え、本店職員も応援に当たるとともに、平日営業時間の延長や手続きの簡素化などに取り組み、相談窓口の機能拡大や処理迅速化を図りました。加えて、商工会議所、商工会、生活衛生同業組合、青色申告会など、関係機関と連携し、中部地域の事業者の資金ニーズに対応することで、セーフティネット機能を最大限発揮いたしました。

当公庫は、今後とも、関係機関や民間金融機関との一層の連携を図りながら、地域経済及び雇用の維持に資するよう努めてまいります。

<問い合わせ先>

中部支店 業務第一課 TEL 098-989-6604